

小樽市で飲酒運転の車が女性4人をひき逃げし、3人が死亡、1人が重傷を負った事件からきょう13日で1年。地元では10日に市と小樽警察署主催で飲酒運転根絶の意識向上と死亡者の追悼のためのイベントが開かれ、全国運転代行協会北海道支部(樋渡義章支部長)が参加・協力した。飲酒運転防止を訴える、子ども書道コンクールの作品を随伴車にラッピングし、利用者に訴えた。

市内のマリン広場で式典を行い、警察車両や、タク

## ラッピング随伴車で 飲酒運転の根絶訴え

小樽ひき逃げ追悼で運転代行業界

で被害者への献花を行った。広場で書道作品の展示を続けたい」と強調した。

会も開かれた。樋渡義章全国運転代行協会北海道支部長は、1年前の死傷事故が夕方に発生したことに触れて、「日中の代行依頼には現状で対応が難しい。飲酒の受け皿となるよう業界自体がアルバイト中心の業態から変わる必要がある」と本紙に語り、「根絶活動にしても件数が減らないことが悩みだが、飲酒運転の被害者になっても加害者になっても残される家族がいる。悲しむ子どもを出さないように活動を

し、代行随伴車などが集結した。関係者が事故現場

を